

グループホーム・ケアホーム「れん」が開所しました

今年4月に当法人2ヶ所目の住まいの場となる、「れん」が熊本市長嶺西にオープンしました。

1ヶ所目の「ゆうゆう館」(平成13年開所)は“福祉ホーム”という制度ですが、今回の「れん」は“グループホーム・ケアホーム”という、別の仕組みのホームとなっています。

“福祉ホーム”というのは、支援の必要な障害者が地域で自立した生活を営む、といった発想がまだなかった時代に作られた歴史の古い制度でして、住宅に困窮している障害者向けのアパートといったようなものです。従って、(少なくとも制度上は)身体介護等を必要とする重度の障害者などはその対象外とされていました。

一方の“グループホーム・ケアホーム”は「日常生活面で必要な援助を受けながら利用者が共同して生活を営むための住居」とされており、比較的軽い障害を持つ方向けの“グループホーム”と、より重度の障害を持つ方々を対象として介護的な支援の提供を含む“ケアホーム”があります。「れん」は、障害の軽い方も重い方も、希望される方はどなたでも入居していただけるよう、その両方の機能を備えたものとしています。

しかしながら時代の変化とともに「ゆうゆう館」を含め多くの福祉ホームは、障害者向けのアパート

ではなく自立した暮らしを目指すためのホームへと変わり、また、重度の障害を持つ方の利用も増えてきていますので、グループホーム・ケアホームとの境目はなくなってきつつあります。

と、ちょっと前置きが長くなりましたが、「れん」はトイレ(うち4室が車椅子利用者向け)や洗面化粧台などがある7.5畳ほどの居室が7部屋あるほか、車椅子利用者でも使いやすいような造りの浴室や食堂、毎晩泊まる宿直職員の仮眠室などを備えたホームとなっています。設計上こだわったのは、基本的に各居室は窓が2面あって室内を風が通るようにしたこと、各居室が接する壁の部分を少なくして隣室の音が届きにくいようにしたこと、そして木のぬくもりを感じられる造りとしたことなどです。果たして入居されている方たちがそのことを喜んでくれたかどうかは微妙ですけど。

「れん」の名前の由来は、Live(暮らす)・Enjoy(楽しむ)・Nagamine(長嶺)のそれぞれ頭文字を取った(LEN)ものです。現在暮らす7名の方たちが、その名のとおり地域での暮らしを楽しんで、必要な援助を受けながらそれぞれご自分の生活を築いていくことができるよう、私たちもしっかりと応援し、サポートしていきたいと思っています。

施設長 熊川 嘉一郎

外観



玄関



食堂



..... 私たちも応援します 街の風

(有)くもと有機の会

〒861-3202 上益城郡御船町大字小坂字須崎1259-2
TEL 096-281-7355 FAX 096-281-7388

(有)斉藤自動車センター

〒861-1112 合志市須屋670-1
TEL 096-345-1155 FAX 096-344-8916

清水電気工業(株)

〒862-0962 熊本市田迎1-1-20
TEL 096-370-1212 FAX 096-378-6713

(株)西部観光

〒862-0976 熊本市九品寺1-5-3-2F
TEL 096-361-1188

(有)大成電気商会

〒862-0913 熊本市尾ノ上3丁目6-6
TEL・FAX 096-382-2666

(医)南郷谷整形外科医院

〒869-1602 阿蘇郡高森町高森2186-1
TEL 0967-62-3351
URL <http://www.coara.or.jp/~takekou>